

# 平成 28 年度 子どもアトリエ活動記録

大きなボードや紙に思いっきり絵を描く。身近な素材を組み合わせているんなものをつくる

平成 26 年 10 月に開館したサントミュージゼ・上田市立美術館には子どもアトリエが併設され、子どもたちの考える力や創造する力を育むプログラムを作成し活動しています。のびのびとした環境の中での創作活動、アートを通じた親子のコミュニケーション、そして、子どもたち同士がお互いの感性の違いを認めあえる交流の場。様々な体験を通して「つくるって楽しい」「表現するっておもしろい」を感じながら、子どもたちの自由な発想、新たな創作意欲を引き出すきっかけをつくります。

平成 28 年度は、子どもたちやその親、学校の先生など、延べ 3,000 人を超える方々が子どもアトリエのプログラムを体験しました。

## 【一般親子向けプログラム】

### 1. えのぐであそぼう

美術館中庭にある大きなお絵かきボードや、長いロール紙、大きなダンボールなどに、えのぐを使って自由に絵を描きます。用意してある色々な色の中から、好きな色の絵の具を選び、交換しながら描いていきます。

絵の具という材料を体験すること、色々な色を探したり、色をまぜたり、絵の具の感触を楽しむことで、画材や描画、美術館という場所にも、自然と親しんでいかれることをねらいとして、開放的な広い空間の中で、のびのびと自由な気持ちで活動できるよう配慮しています。また、子どもたち自身が、できるだけ自分で、やりたいと思うことができるよう、大人がそれを見守り、一緒に楽しむように保護者にも呼びかけています。



- ・日時 4月～10月 主に第1土曜日・第2日曜日 11月～1月は不定期月1回 10時～11時
- ・場所 美術館中庭（おえかき広場）雨天・冬季は子どもアトリエ内
- ・対象 小学生以下（保護者同伴） 定員 30～40名
- ・参加者 全16回 子ども 532名、大人 441名

## 2. アトリエ開放日

毎週木曜日の午前中、子どもアトリエを開放し、描いたりつくったりして、親子であそべるようにしています。用意する材料は、包装紙や空き箱、チラシといった日常生活の中にある材料を、分類し、子どもたちが使いやすいように整えたものです。道具も、のりやはさみ、クレパスなど、家庭にもあるようなもので、子どもたちが扱いやすいものを揃えています。

特に決まったものの作り方を教えるのではなく、子どもたちが自由な発想で、やりたいことをやりたい分だけできるように、緩やかな雰囲気になるよう配慮しています。また、できあがったおもちゃやゲームではなく、身近にある材料を使って、親子で一緒につくりながらあそべる、という経験や発見を、保護者に得てもらいたいと考えています。



- ・日時 4月～1月 できる限り毎週木曜日 10時～12時
- ・場所 子どもアトリエ
- ・対象 小学生以下（保護者同伴）
- ・参加者 全38回 子ども509名、大人401名

### 【教室・短期】

## 3. 親子で工作

親子で気軽に参加できる、一日単位の工作教室です。折る、切る、貼る、といった工作の基本的な技術を使ってできる内容です。そうした基本動作のコツなども指導し、工作の楽しさが広がるように配慮しています。

大人も子どもも、各自それぞれ1点ずつ、自分だけの作品をつくれるように材料・道具を準備します。大人にも手を動かす楽しさを味わってもらうことで、親子の会話や家庭での発展も期待しています。また、一人ひとりがデザインや形などのアレンジができるように構成し、同じ題材でも、それぞれオリジナルの作品が仕上げられるようにしています。



- ・日時 オリジナルボックスをつくろう 7/18(月) / 車をつくろう 8/14(日)
- ・場所 子どもアトリエ
- ・対象 小学校1年生~6年生(先着各15組)
- ・講師 倉島壮
- ・参加者 ボックス:子ども14名、大人9名 車:子ども12名、大人9名

#### 4. 夏休み子ども美術教室

夏休みの3日間を通じて行う、小学生向けの絵画教室です。イーゼルを使用したり、コラージュをとり入れるなど、学校の授業では経験できない道具・技法に接したり、じっくりと時間をかけて作品を仕上げることをねらいとしています。関連する美術館の作品を見学する場合もあります。

山本鼎の提唱した児童自由画の精神に基づき、一人ひとりが自分で感じたことを大切に、自分の作品について発表したり、互いの作品の鑑賞をしたりもします。また、近隣の違う学校や異学年の子どもたち同士の交流の機会ともなるよう、配慮しています。





- ・日時 絵画教室 7/29(金),7/30(土),7/31(日) 木彫り教室 8/5(金),8/6(土),8/7(日)
- ・場所 子どもアトリエ
- ・対象 小学校3年生～中学3年生(先着各20名)
- ・講師 絵画:倉島壮 木彫り:倉澤満
- ・参加者 絵画:10名 木彫り:13名

## 5. 親子版画年賀状教室

親子で2日間にわたって年賀状づくりを行う教室です。ひとつの版ができれば、何枚も刷ることができる版画の特徴を生かし、版画表現に親しむきっかけとして、年賀状という題材を選んでいきます。こちらも、大人も、子どももそれぞれに自分の作品を制作することとしています。後日作品展も行っています。



- ・日時 12/3(土),12/4(日)
- ・場所 子どもアトリエ
- ・対象 小学校1年生～6年生(先着各12組)
- ・講師 宮崎さゆり
- ・参加者 子ども13名、大人10名

【教室・通年】

## 6. 子どもは天才講座

年間を通じて、季節の行事や自然の素材などをテーマに、親子で参加し、主として子どもたちが

描いたりつくったりします。

子どもたちが本来持っている豊かな感性や表現力を、発揮し、伸ばしていくために、周囲の大人が一体となって見守りながら、子どもを深く知ろうということが主たるねらいの講座です。様々な素材や環境を用意した中で、子どもたちが自然とワクワクして「やってみたい!」「つくってみたい!」という気持ちが湧き出すように配慮しています。



- ・日時 4月～2月 主に第4土曜日 10時～12時 全11回
  - ・場所 子どもアトリエ
  - ・対象 2歳以上の未就学児とその保護者 25組(子ども31名、大人31名)
  - ・講師 山崎英樹
- 別途、抽選に漏れた方を対象に9月と1月に実施 子ども15名、大人18名

## 7. アソビジュツ!

・今年から新規に実施した、小学生向けの、造形あそびや工作を中心とした連続講座です。毎回違った素材や技法をテーマとしながら、一人ひとりが自由な発想や工夫で、つくる楽しさを味わえることをねらいとしています。材料の特性や道具の扱い方などが、講座を通じて習得できるよう工夫し、自分がつくりたいと思うものをつくれるようになるよう指導していきます。手や体を動かしながら、発想したり、表現したりできるように構成しています。



- ・日時 9月～1月 毎月1回 土曜日 10時～12時 全5回
- ・場所 子どもアトリエ
- ・対象 小学校1年生～6年生 24名
- ・講師 倉島壮

## 【団体向けプログラム】

### 8. 保育園・幼稚園 プログラム

保育園・幼稚園が、団体で利用できるプログラムです。えのぐあそび、ローラー遊び、紙版画という3種類のメニューから、要望に応じて実施しています。

沢山の絵の具を用意したり、大きな画材を用意したりと、園では日ごろ経験させにくいことができるような内容を用意しています。事前の打ち合わせにより、園児たちの日常の様子を聞き取り、先生方のご要望もお聞きしながら、各園の状況に沿って内容をアレンジしています。



- ・場所 美術館中庭、子どもアトリエ
- ・講師 宮下倬實、宮崎さゆり、倉島壮
- ・参加者 14回 子ども336名、大人50名

### 9. 小学生向け プログラム

描画系と工作・造形あそび系のメニューをそれぞれ3種類ずつ、6種類のメニューを用意し、要望に応じて実施しています。幼稚園・保育園の利用と同様に、各校の子どもたちの状況を聞き取り、それに沿って内容をアレンジしています。



- ・場所 美術館中庭、子どもアトリエ
- ・講師 宮下倬實、倉島壮
- ・参加者 2回 子ども62名、大人10名

## 【子どもたちの作品展】

- ・長野県児童生徒美術展（上小地区展） 10/26（水）～11/7（月・祝）
- ・親子版画年賀状教室作品展 12/23（金）～1/9（月・祝）
- ・上小児童生徒立体等作品展 1/28（土）～2/6（月）
- ・上小児童生徒版画展 2/11（土）～2/20（月）
- ・子ども美術教室作品展 3/4（土）～3/13（月）
- ・子どもは天才講座作品展 3/18（土）～3/26（日）

学校の授業や、子どもアトリエの教室で制作した作品、活動の様子の写真などを展示しています。上小児童展は、展示作品数も多く、家族や親せきなど多くの方が来場され、子どもアトリエという場所や活動を知っていただく機会にもなっています。教室の作品展は、作品を制作して終わるのではなく、自分の作品を見てもらう、という経験までができるよう実施しています。作品に加えて、教室の様子や子どもたちの感想なども展示することで、制作の楽しさや表現の喜びなどを伝え、新たに興味を持っていただく方を増やすこともねらいとしています。



## 【その他 共催・協力事業】

### 10. セレノグラフィカ 特別授業 6/29（水）,7/1（金） 川西小学校、傍陽小学校

コンテンポラリーダンサーのユニット「セレノグラフィカ」さんのお二人から、ダンスと美術のコラボができないかのご相談がありました。ダンスワークショップで体をほぐした後に、予め不思議な形に切っておいてもらった段ボールピースを体育館いっぱいに広げ、模様や絵を描くことをご提案しました。描きあがったピースの間を歩いて作品を眺めたり、ピースを持って行進したり、ポーズをとったりと、心と体を開放して表現し、全身で楽しめる授業を行っていただきました。

- ・参加者 川西小学校 4年1組・2組 43名、傍陽小学校3・4年生 31名

## 11. 図工実技研修 10/19(水)

丸子地区の小学校教諭向けに、図工実技研修の指導依頼を受け、初めて実施しました。専科に関わらず、小学校の担任の先生を対象とした内容で、美術の授業のヒントになるような研修会をとのご希望により、学校現場でも準備しやすい道具や材料を使って、新しい発想や働きかけができるようなメニューを2種類、提案しました。学習の流れや状況によって、発展させるアイデアなどもお伝えしました。実際の授業でのイメージが膨らむように、先生方に実際に授業を受けるような形でまずは先生方に、「美術って楽しい!」「面白い!」と感じていただけるよう工夫しました。

・参加者 丸子地区小学校教諭 7名



## 12. 白井ゆみ枝 特別授業「とんとんとんぴ」 1/13(金),1/27(金)本原小学校

上田市出身・在住アーティスト白井ゆみ枝さんの展覧会に先立ち、2回にわたって特別授業をお願いしました。1回目は上田の空を飛ぶとんぴの気持ちになって想像を膨らませ、とんぴの羽を段ボールに描いて切り抜きました。2回目は、12枚の大きな模造紙に、12色の絵の具を使ってみんなで模様を描き、それをちぎって、各々のとんぴに貼りつけていきました。形も色もさまざまなとんぴが49羽できあがり、白井さんの展覧会場入口に展示されました。

・参加者 本原小学校3年生 49名





### 13. 白井ゆみ枝 ワークショップ 「サントミュージゼの森へいらっしやい」

白井ゆみ枝 上田全天候展の関連企画として、子どもたちが白井さんと展覧会を鑑賞し、想像した森の絵を描くワークショップを実施しました。作品を見ながら、白井さんが制作をするときに心がけていることや、発想の手がかりにしていることなどを聞いたり、子どもたちが感じたことを話したりした後、まずは画用紙に、一人ずつ頭に浮かんだ森の景色や生き物などを絵の具で描きました。午後には子どもアトリエ前のガラス面に、全員でひとつの森の絵を描きあげました。

・参加者 小学1年生～中学1年生 11名、保護者6名

